

科目名	<b>生物基礎</b>	単位数	2単位	学科・学年	全科 1年	
使用教科書	改訂版 生物基礎	数研出版	副教材等	新編生物基礎準拠ノート まとめと問題 (数研出版)		
学習目標	生物や生物現象についての学習を通して、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探求する態度と能力を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。					
学習評価	○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	①関心・意欲・態度	自然に関心を持ち、意欲的に授業に参加しようと努力しているか。				
	②思考・判断	自然の事物・現象を科学的にとらえ、基本的な原理・法則をもとに問題解決できるか。				
	③技能・表現	実験・観察などを円滑に進め、その結果をまとめることができるか。				
	④知識・理解	自然の事物・現象の基本的な原理・法則について知識・理解を深めることができるか。				
		評価方法\観点	①	②	③	④
学習状況観察		◎	—	—	—	机間巡視、観察
探求活動・課題プリント		○	◎	◎	◎	補助教材
ノート・プリント提出		◎	—	◎	—	学期に数回提出
ペーパーテスト		—	◎	○	◎	定期テスト
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生物基礎」は、生物の連続性、及び、環境と生物の反応を学びます。テレビ・新聞などで報道される身近な科学（番組・記事）に関心をもつように心掛けてください。</li> <li>・授業では毎時間、板書内容をノート、または副教材に書き写してもらいます。ノートと副教材は提出物として扱います。</li> <li>・探究活動を実施した場合は、終了時にはレポートを提出してもらいます。</li> <li>・章が終わるごとに学習内容が理解できているか、副教材を活用して授業内容が理解できているか、確認します。</li> </ul>					

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 ( 評 価 方 法 )
1 学 期	4	第1章 生物の特徴 1節 生物の共通性と多様性	4	生物は多様でありながら、共通性があることを理解する。	学習状況観察 補助教材 提出物 中間テスト
	5	2節 エネルギーと代謝	22	生物に共通する特徴のうち、全ての生物が細胞から成り立っていることを理解する。 生物の体内では常に物質の合成や分解の化学反応が行われていることを考察する。	
		6	3節 光合成と呼吸		植物の行う光合成とエネルギーの関係を理解する。
	7	第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA	6	現在のゲノム研究につながる過去のDNA研究について把握し、どのようにしてDNAが遺伝情報を担っている物質であるとわかったかを理解する。	学習状況観察 補助教材 提出物 期末テスト
2 学 期	9	2節 遺伝情報の発現	8	生体は様々なタンパク質からなることに触れ、それらは遺伝子によりアミノ酸配列が決定されることで合成されることを理解する。	学習状況観察 補助教材 提出物 中間テスト
	10	3節 遺伝情報の分配	6	体細胞分裂時の染色体の状態、細胞周期とDNA量の変化を理解する。	
	11	第3章 生物の体内環境とその維持 1節 体内環境としての体液	8	恒常性について、体内では様々な働きがあることを理解する。 体を守る仕組みの免疫について理解する。	学習状況観察 補助教材 提出物 期末テスト
		12			
3 学 期	1	第4章 生物の多様性と生態系 1節 植生とその成り立ち	8	植物の生活と環境との間にどのような関わりがあるか把握する。	学習状況観察 補助教材 提出物 学年末テスト
	2	2節 植生の移り変わり 3節 気候とバイオーム	8	気温と降水量の違いによって、地球上には様々なバイオームが成り立つことを理解する。	
	3	第5章 生態系とその保全		生態系バランスは常に変動していること、またその変動の幅は一定であることを理解する。	